

## ノロウイルス簡易検査の偽陽性に関する研究

【はじめに】 集団食中毒でクローズアップ 全国で猛威を振るうノロウイルス感染症

ノロウイルスは、主に冬季に流行する感染性胃腸炎の原因ウイルスであり、感染力が強く容易に集団感染を引き起こし、社会的問題となっています。今話題となっている「ノロウイルス検査陽性者に症状がなかった」との報道に驚かれる方も多かったのではないのでしょうか。感染しても症状が出ない状態を「不顕性感染」と呼びます。本人に症状が無いので普段通りの生活をしますが、やっかいなのは「他人にうつす」能力があり、知らないうちに加害者になり得るからです。

ノロウイルス感染症は簡易迅速診断キットにより検査することが可能です。感度と言って、ウイルスが体内にいる場合の陽性率は約80~90%なので、感染者でも10人に1~2人は検査で陰性になってしまいます。一方、検査結果に偽陽性反応を示す事もあります。「偽陽性反応」とは、本来は感染していない（陰性）であるのに、誤って陽性と判定される事。当院において得られた簡易検査キットの統計データを報告します。

### 【対象】

今回の統計に協力いただいた患者様は96例（男性53例・女性47例・平均年齢69歳です）

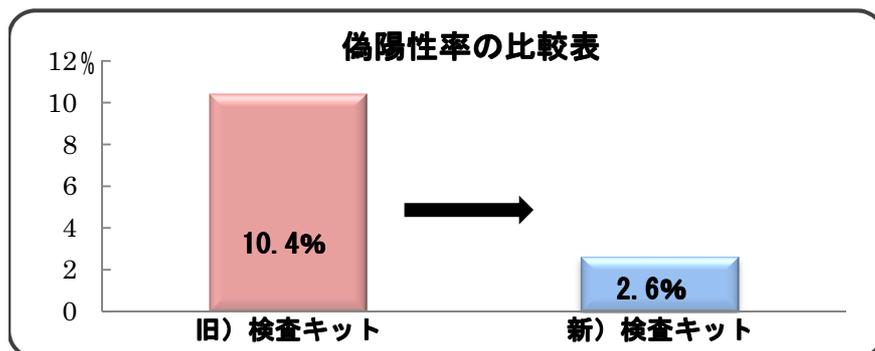
なお、検体採取にあたり ノロウイルス感染症に対し適切な感染管理・簡易検査キットの検討を行うことを説明し、承諾書を得ております。

### 【方法】

旧)簡易検査キット及び 新)簡易検査キットを遺伝子検査(PCR法)と比較し、偽陽性の有無を判断する。

簡易検査キットは「デンカ生研社製・クイックナビ™-ノロ 及び ノロ2」を用い検査しました。

### 【結果】



新検査キットの導入により、偽陽性率は大幅に改善されました。

学会発表；日本臨床検査医学会 ノロウイルス迅速診断キットの臨床的有用性に関する検討

2013.11.(於 神戸国際会議場) 臨床病理,vol.61, p.295, O355 茅野眞男, 大槻英紀

### ノロウイルスの感染対策

厚生労働省ホームページより

#### 1) 手洗い

- 洗うタイミングは
  - ◎トイレにいったあと
  - ◎調理施設に入る前
  - ◎料理の盛付けの前
  - ◎次の調理作業に入る前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
  - ◎指先・指の間・爪の間
  - ◎親指の周り
  - ◎手首

#### 2) おう吐物などの適切な処理

- ◎使い捨てのマスクやガウン、手袋を着用
- ◎ペーパータオル等で静かに拭き取り  
塩素消毒後、水ぶきをします。
- ◎拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。  
できれば、ビニール袋の中で1000ppmの塩素液に浸します。
- ◎しぶきなどを吸い込まないようにします。
- ◎終わったら、ていねいに手を洗います。